

回 覧

富来田地区にお住まいの皆様

「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027 説明会」開催のご案内

日頃より市政の推進について、格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記説明会を下記のとおり開催することとなりました。

ご多忙中と存じますが、富来田地区にて実施するイベントとなりますので、地域の皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

1 日 時 令和8年7月30日（木） 18時～20時

2 場 所 富来田地域交流センター 研修室1・2

木更津市真里谷110

3 内 容 「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」概要説明等

※資料は当日配布させていただきます。

【お問合せ】

〒292-8501

木更津市富士見1-2-1

木更津市役所観光振興課 近藤・松本

TEL 0438-23-8459

FAX 0438-23-0075

E-mail kankou@city.kisarazu.lg.jp

作品鑑賞パスポート Boso Triennale Passport

<区分>	<前売 2027.3.5 まで>	<会期中 2027.3.6～5.30>
大人(19 歳以上)	3,000 円	3,500 円
中人(16～18 歳)	1,000 円	1,500 円
小人(15 歳以下)	無料	無料

※区分は購入時点の年齢による
※個別鑑賞券は別途設定
※障がい者手帳をお持ちの方は無料(介添が必要な場合は同行者 1 名無料)

【販売開始時期】 2026年秋頃(予定)
※企画発表会の開催に合わせて販売を開始

【ふるさと納税】
販売に先行し、2 市 1 町のふるさと納税返礼品としてパスポートをお選びいただけます(発送は 2027 年 1 月以降予定)

【大口購入】 ※詳細は公式HPにてご確認ください		
<購入数>	<価格 / 冊(大人)>	<特典>
20冊以上	2,700 円(前売)	なし
	3,200 円(会期中)	//
100冊以上	2,700 円(前売)	あり
	3,200 円(会期中)	//

アクセス Access

東京から房総まで1時間

作品・会場ごとに最寄り駅は異なりますが、いずれも東京・横浜・成田・羽田方面から車・鉄道・高速バスで約 1 時間以内とアクセスの良いエリアです。アクセスの詳細は追って公式 HP にてご案内します。

寄附/協賛 Donation/Sponsorship

株式会社合同資源
イオンモール幕張新都心 / 野村アセットマネジメント株式会社
イオンモール木更津
山崎製パン株式会社 / 京葉ガスエナジーソリューション株式会社 / 株式会社いちはらケーブルテレビ

お問合せ先 Contact Information

房総国際芸術祭実行委員会事務局
〒292-8501 千葉県木更津市富士見一丁目 2 番 1 号
TEL : 0438-38-6563
FAX : 0438-23-0075
E-Mail : info@boso-artmix.com
https://boso-artmix.com/

公式 HP 公式 Instagram



Photo by Endo Tadashi、Kioku Keizo、Ishizuka Gentaro、Nakamura Osamu

房総国際芸術祭 Boso Triennale

アート×ミックス 五感全開、旅する房総ーみんなの美術工場ー
Art X Mix Traveling Boso - International Art Factory -
2027.3.6-5.30

房総国際芸術祭 アート×ミックス2027
2027(令和9)年3月6日(土)～5月30日(日) 火・水定休(GW は除く)、64日間
主催：房総国際芸術祭実行委員会(千葉県、市原市、木更津市、大多喜町)
会場：市原市、木更津市、大多喜町の各地
総合プロデューサー：小林武史
総合ディレクター ：北川フラム
Boso Triennale 2027
2027.3.6-5.30 / Closed on Tuesdays and Wednesdays
Organizer:Boso Triennale Executive Committee
(Chiba Prefecture, Ichihara City, Kisarazu City, Otaki Town)
Venues:Ichihara City, Kisarazu City, Otaki Town
General Producer:Kobayashi Takeshi
General Director:Kitagawa Fram

2026 年 3 月 31 日 時点

房総国際芸術祭 Boso Triennale

01.
八幡宿駅周辺
Around Yawatajuku Station



02.
五井駅周辺・梨ノ木公園
Around Goi Station・Nashinoki Park



03.
市原歴史博物館
Ichihara History Museum



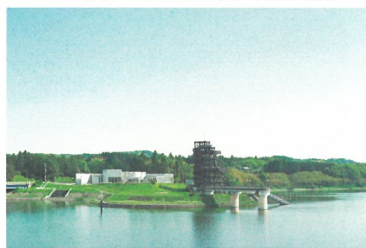
04.
上総牛久駅周辺
Around Kazusa-Ushiku Station



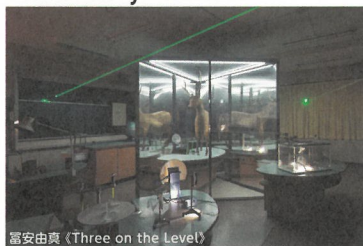
05.
内田未来楽校
Uchida Mirai Gakko



06.
市原湖畔美術館
Ichihara Lakeside Museum



07.
旧平三小学校
Former Heisan
Elementary School



08.
旧里見小学校
Former Satomi Elementary School



09.
月崎・田淵
Tsukizaki・Tabuchi



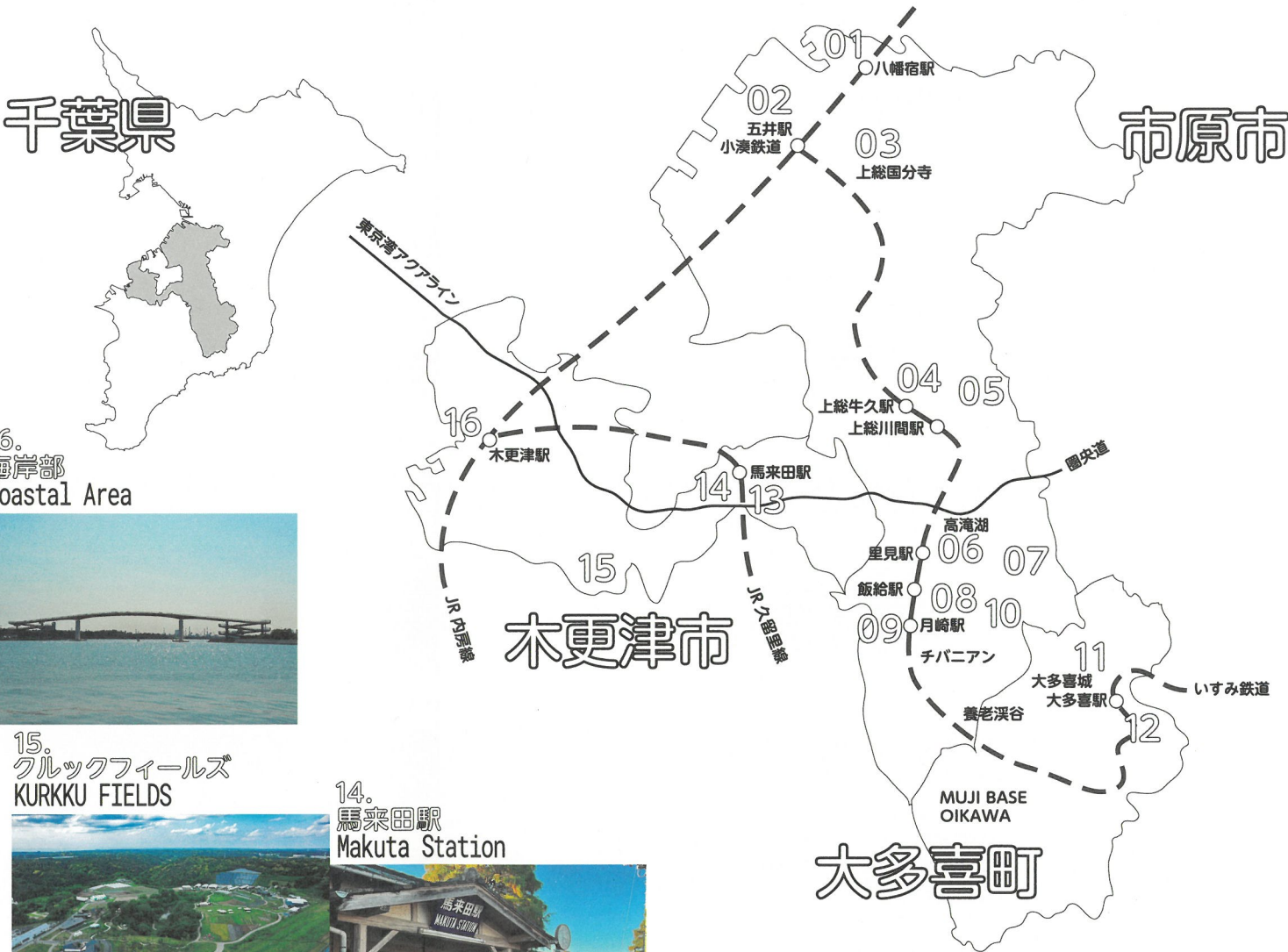
10.
月出工舎
ARS TSUKIDE



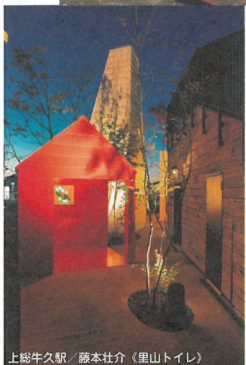
11.
大多喜町役場
Otaki Town Hall



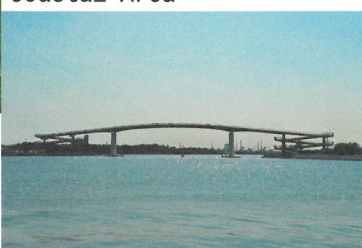
アートの舞台 Art Sites



[広域] 小湊鉄道各駅舎ほか
[Wide Area] Kominato Railway Stations & Other Site



16.
海岸部
Coastal Area



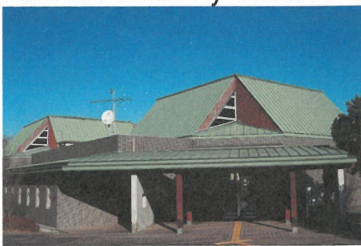
15.
クルックフィールズ
KURKKU FIELDS



14.
馬来田駅
Makuta Station



13.
富来田地域交流センター
Fukuta Community Center



12.
城下町通り
Castle Town Street



房総国際芸術祭 アート×ミックス2027

千葉県市原市では、地域課題の解決や交流人口拡大を目的に、2014年から芸術祭「いちはらアート×ミックス」を開催し、地域の魅力の再発見と活用に取り組んできました。これを継承し、2024年は内房総5市（市原市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市）にて官民協働で「千葉県誕生150周年記念事業 百年後芸術祭～環境と欲望～内房総アートフェス」を展開。2027年はそれをさらに発展させ、千葉県、市原市、木更津市、大多喜町が連携し「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」を開催します。

テーマ・コンセプト

「五感全開、旅する房総ーみんなの美術工場ー」

房総半島まるごとの千葉県は、鎌倉殿が勢力を拡大し、のちに各地で城下町が形成された関東の歴史的拠点であり、古くは国分寺から遡る古墳文化の華やかな地であり、2500万年前にはユーラシア大陸から離れていく日本列島の牽引の大地でした。近代以降、この豊かさを育む里山や歴史的な風景とともに、日本有数の工業地帯として、また首都圏の大切な住宅地として発展し、今や日本列島の縮図ともいえる地域として存在感をもってきました。

本芸術祭では、2市1町の各地にアート作品と音楽・ライブパフォーマンスを展開し、来場者は、半島を縦断する鉄道、車、自転車、徒歩などで地域を旅します。太平洋を臨むフロンティアの地に、世界各地から作家が集い、世界へと開かれた国際的な芸術祭の拠点として歩み始めます。ここでは「みんなの美術工場」の構想のもと、ものづくりに注目し、作家の滞在制作やシンポジウム、ワークショップを開催します。さらに、木更津のクルックフィールズを立ち上げた小林武史が、この地域の特徴を生かした音楽・ライブパフォーマンスを手掛けます。また各エリアの食施設と連携し、地産地消メニューや新しい食体験を考案。芸術祭を訪れる人々と地域との交流も創出します。

多様な文化を育んできた房総の地で、美術・文化を題材とした地域づくりを始めるべく、千葉県・市原市・木更津市・大多喜町が「房総国際芸術祭 アート×ミックス2027」を開催します。地域の産業・文化・美術・音楽を、海外から学びつつも、地域の力のなかで育てていこうとするものです。